

ご提供いただきたいデータについて

新規・継続保険者様共通

自治体基本情報データ	
必要データ項目	人口、第一号被保険者数、高齢化率、人口密度(人/km2)、可住地面積(km2)、小地域数、要支援者数(要支援1および2)、要介護認定者数(要支援1～要介護5)、 認知症ランクⅡ以上の認定者数 新規(2022年度)要支援・要介護者数 総合事業対象者数
提供目的	自治体の基本情報として必要です。
特記事項	-データ基準日：調査対象者名簿を作成した月日
※依頼事項	新規(2022年度)の要支援・要介護者数は2021年10月から2022年10月までの対象者数を頂きたいと考えております。

小地域別の各種集計データ	
必要データ項目	小学校区および地域包括区番号＆区名、人口、第1号被保険者数、要支援者数(要支援1および2)、要介護認定者数(要支援1～要介護5)、認知症ランクⅡ以上の認定者数
提供目的	介護予防・対策の基礎資料として、小地域ごとの地域診断によって要介護リスクの関連要因を明らかにし、次期の介護保険事業に向けた参考資料としてご提供したいと考えております。小地域ごとの特性を明らかにすることは事業計画策定上、大きな意義を持つと考えます。
特記事項	-データ基準日：調査対象者名簿を作成した月日
総合事業対象者数	
必要データ項目	小学校区および地域包括区番号＆区名、総合事業対象者数
提供目的	介護予防・対策の基礎資料として、小地域ごとの地域診断によって要介護リスクの関連要因を明らかにし、次期の介護保険事業に向けた参考資料としてご提供したいと考えております。小地域ごとの特性を明らかにすることは事業計画策定上、大きな意義を持つと考えます。

Shape ファイル(シェイプファイル)	
必須ファイル	shp, dbf, shx, prj の4ファイル ※prjファイルがない場合は、残りの3ファイルでも構いません。
提供目的	JAGESプロジェクトでは調査結果をはじめとするデータの「見える化」を通じ、保険者が簡便かつ有効に地域診断を行えるよう支援することをめざしています。Shapeファイルが利用可能であれば、各種の分析に必要なデータの加工が相当簡略化でき、委託費・研究費の有効活用にもつながります。
特記事項	継続参加保険者の皆さまは2019年調査以降、小学校区(場合によっては地域包括区/中学校区/郵便番号)の再編等がある場合に限り、ご提供ください。

健康診査データ	
提供データ内容	2022年度健診データ
必要データ項目	被保険者番号（暗号化済）、年齢、性別、小学校区および地域包括区番号＆区名、身体計測（身長、体重、BMI、腹囲）、 血圧（収縮期血圧、拡張期血圧）、血液検査（中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール、総コレステロール、空腹時血糖値、随時血糖値、HbA1c（JDS値）、HbA1c（NGSP値）、HbA1c検査機関名、HbA1c測定方法（HPLC法、酵素法、免疫法）、GOT（AST）、GPT（ALT）、γ-GTP、尿糖、尿蛋白、赤血球数、血色素量、ヘマトクリット、総蛋白量、アルブミン、 総ビリルビン、尿素窒素、尿酸、クレアチニン、白血球、血小板、血清鉄、心電図検査、眼底検査、ウロプリノーゲン、尿蛋白、尿糖、 尿潜血、尿Ph）、質問票による問診項目（既往歴や治療歴、内服の有無等）。 上記項目に限らず、その他の独自項目や、採血結果等あれば提供をお願いします。
提供目的	H31年高齢者の保険事業と介護予防の一体的実施に向けて法改正が行われました。健康診査データに、要介護認定等の情報や、 高齢者の社会参加の有無やその頻度、家族構成など、個人の社会的な背景に関する情報などが結合できれば、保険事業と介護予防の一体的実施の有用性を裏付けることができ、地域の健康課題を分析することができます。
特記事項	出力ファイル名はnn健診結果_YYYYMM（2022年度分を抽出）とします。また、KDH被保険者台帳介護保険被保険者番号を付与し、調査対象者に限定した上で（データ作成マニュアルは事務局から提供）、事務局が提供する暗号化ソフトを用いて暗号化のうえ、ご提供ください。

一般介護予防事業（「通いの場」等）& 保健事業（ポイント制度等）基本情報参加者リスト（作成保険者の	
提供データ内容	事業別に作成。2022年度のもの
必要データ項目	事業の基本情報：会場名、開所および閉所年度、郵便番号、住所（番地）、活動内容、参加人数、開催回数、ボランティアの人数 参加者情報：被保険者番号（暗号化済）あるいは調査票番号、氏名、生年月（19〇〇/mm）、性別、住所（町長目字まで）、参加種別（ボランティアと一般参加者等の分けがある場合）、会場名、事業開催毎の参加の有無 ボランティア情報：被保険者番号（暗号化済）あるいは調査票番号、氏名、生年月（19〇〇/mm）、性別、住所（町丁目字まで）、会場名、ボランティア保険登録および最終年度

提供目的	JAGESプロジェクトでは、参加者の満足度や変化だけでなく、事業参加率やその後の認定・死亡まで含めた総合的・客観的データを用いた効果評価を行います。事業参加者リストをアンケート調査結果や③要介護認定データ④保険料賦課データと組み合わせることで、どの事業に参加した人が認定を受けにくい・亡くなりやすいか（＝どの事業で介護予防効果が高いか）を検証します。こうした効果評価は効果的・効率的な事業を見極めるうえで重要であり、厚労省も注目する重要課題となっています。
特記事項	参加者リストを作成していない場合は、ぜひ今年度より参加者リストをご作成ください。参加者登録用紙と参加者リストのひな型はご提供させていただくことが可能です。

ご提供いただきたいデータについて

継続保険者様

要介護認定データ(NCI251データ)	
提供データ期間	JAGES2010 参加保険者：2010年4月～直近まで JAGES2013 参加保険者：2013年4月～直近まで JAGES2016 参加保険者：2016年4月～直近まで JAGES2019 参加保険者：2019年4月～直近まで
必要データ項目	※別途、認定データ抽出マニュアルを用意しておりますので、マニュアルに沿って作業お願い申し上げます。
提供目的	誰がいつ認定を受けたのか、認定レベルがどのように変化したのかを明らかにします。

介護保険料賦課情報データ	
提供データ期間	JAGES2010参加保険者:2010年度～2022年度。受給資格喪失日は直近まで JAGES2013参加保険者:2013年度～2022年度。受給資格喪失日は直近まで JAGES2016参加保険者:2016年度～2022年度。受給資格喪失日は直近まで JAGES2019参加保険者:2019年度～2022年度。受給資格喪失日は直近まで
必要データ項目	保険者番号(6桁)、市区町村コード(5桁)、被保険者番号（暗号化済）、 賦課年度、保険料段階、受給資格喪失日、受給資格喪失事由
提供目的	誰がいつ死亡したのか、誰がいつ転出したのか（転出者はその後の認定・死亡の追跡が不可能になるため）、保険料段階から所得グループを推定し、健康格差に関する検証などを行います。
特記事項	住所地特例者のデータは削除して提出してください。

介護保険給付実績データ（111データ）	
提供データ期間	JAGES2010 参加保険者：2010年4月～直近まで JAGES2013 参加保険者：2013年4月～直近まで JAGES2016 参加保険者：2016年4月～直近まで JAGES2019 参加保険者：2019年4月～直近まで
必要データ項目	被保険者番号（暗号化済）、サービス種類別回数・給付額（各都道府県国保連合会が毎月提供する給付実績情報（111データ）ファイルをそのままご提供ください）
提供目的	個人の要介護認定データと合わせて介護保険サービスの利用実績を分析することで、個人の認定後の経過や、予防給付が効果的に用いられているかを知ることができます。

賦課データの所得段階別対象者表	
提供目的	保険者ごとに異なる賦課データの保険料段階を分析できるようにするために必要です。
特記事項	賦課データの抽出期間中に所得段階に変更がある場合は、当時のものも含めてご提供ください。

KDBシステムの帳票「地域の全体像の把握」（帳票ID：P21_001）	
提供データ期間	JAGES2010 参加保険者：2010年4月～直近まで JAGES2013 参加保険者：2013年4月～直近まで JAGES2016 参加保険者：2016年4月～直近まで JAGES2019 参加保険者：2019年4月～直近まで
提供目的	地域の人口構成や被保険者構成、生活習慣、健診の結果の状況、医療状況、介護状況について、県・同規模・国の状況と比較することで、地域の特徴が把握できます。